

も、右申上候本芝金杉ヨリ仕入仕候浦方計ノ引受外之肴問屋仕入仕候鯛一切引受不申、別而火之元之儀大切ニ仕、私共日々付居候而御成日ニ者魚油煎候儀相休可申旨、被仰渡候趣一々奉畏候、前書之趣少ニ而も相背、紛敷儀等も有之、魚油問屋肴問屋<sup>江</sup>差障候筋も御座候は、何様ニも可被仰付候爲、後日證文差上申候、仍如件、

寶曆五<sup>亥</sup>年九月八日

本芝三町目家持  
願人 市郎兵衛印

五人組 太郎兵衛印 ○十兵衛分略

右願人共、<sup>江</sup>被仰付候御證文之趣、私共<sup>江</sup>も御讀聞せ被遊奉承知候、以上、

本小田原町肴問屋行事  
室町貳町目徳右衛門店

作兵衛印 ○以下二人略

〔諸問屋再興調二十一〕此度問屋組合之儀、文化以前之通再興被仰付、現在人數を以追々取調之内、

左ニ申上候、

川邊貳拾八番組  
一魚油問屋

前々ヨリ渡世現在

拾貳人

是は仕入もの不致紙漉魚油製候組合、

同三拾四番組  
一魚油問屋

前々ヨリ渡世現在

拾五人

是は生魚油仕入引受候組合

(朱書)

右魚油之儀は享保十一年取極拾五品之内ニ有之、名前帳町年寄<sup>江</sup>差出進退仕候處、去

ル丑年御改革之砌御差止、

右貳拾八番組  
一魚油問屋假組

拾八人

内八人試假加相成候もの

此八人之内、成川屋榮三郎外五人之者、貳拾八番組紙漉魚油製候組合ト、三拾四番組生魚油